

Japan River Restoration Network News Letter

発行：日本河川・流域再生
ネットワーク事務局

〒102-0082
東京都千代田区一番町8番地
一番町FSビル3階
財団法人 リバーフロント整備センター内
Tel : 03-6032-7121
Fax: 03-6032-7456
E-mail: info@a-rr.net
URL: <http://www.a-rr.net/jp/>

巻頭書記

日本・韓国・中国の3カ国でスタートした Asian River Restoration Network (アジア河川・流域再生ネットワーク; ARRN)、またその日本支部に当たる Japan River Restoration Network(日本河川・流域

再生ネットワーク; JRRN)が設立され、早いもので1年を迎えようとしています。本ニュースレターでは、ARRN・JRRNの活動内容及び河川再生に関連する情報や取組みなどをご紹介します。

活動報告

中国との ARRN 運営に関する協議 及び ARRN の P R 活動

本年11月30日に東京にて開催される第4回 ARRN 国際フォーラムについての事前調整、および今後の ARRN 運営に関する協議を目的に、8月下旬に中国北京市にある「中国水利水電科学研究院」(以後、「水科院」)を訪問しました。



中国水利水電科学研究院にて

会議には、匡尚富 水科院院長をはじめ、GWP (Global Water Partnership) 中国代表の薫哲仁博士、水科院国際アドバイザーの孟志敏氏など、水科院の国際関係に関する主要な方々にご参加いただき、アジアにおける河川再生に関する有意義な意見交換を行うことが出来ました。

匡院長からは、中国国内での河川再生や水環境改善に対するニーズの高まりに関する説明を受けた上で、今後、水科院としても ARRN 活動に積極的に貢献していきたい旨のお言葉も頂き、ARRN 活動に対する水科院への期待などについても認識を共有することが出来たと思います。

また、今回の訪中では、中国での河川再生事業の動向を知るとともに、ARRN の P R を目的として、

北京市で河川再生事業を担当する「北京市水利規則設計研究院」、同じく長江沿いに発展した武漢市の「武漢市水務局」、更に上海市で蘇州河の河川再生事業を担当する「上海市蘇州河改良事業団」を訪問しました。いずれの組織においても ARRN の活動に対し理解を得ることができ、今後 ARRN の組織体制を明確にした上で新たに ARRN に加入して頂き、河川

再生に関する様々な情報の交換を行っていければと考えています。

ARRN 事務局を担う JRRN として、引き続き中国や韓国との情報交換を密にしながら、河川再生に関する情報をホームページなどを通じて発信していきます。

寄稿記事

太田川(通称:本川)周辺の見学

2007年9月14日(金)15時-17時に太田川周辺を見学しましたので報告します。

太田川は、広島県廿日市市の冠山にその源を発し、幾つもの溪流を合わせながら、広島市安佐北区可部で山峡の地を離れ、支川根谷川・三篠川合流後、南に流下しています。デルタの要である大芝にて太田川(放水路)と旧太田川とに分派し、さらに京橋川、天満川、元安川、猿猴川の計6本の川に分かれ、瀬戸内海に注ぐ幹川流路延長103km、流域1,710km²の河川です。



相生橋、石碑と橋

相生橋は、広島市中心部を流れる旧太田川(本川)と元安川の分岐点に掛かる橋です。橋の形状は全国的にも珍しいT字型の橋であり、T字の足の方角は平和記念公園の北の入口に位置し、T字の水平部分は広島駅・八丁堀・紙屋町と続く路面電車も敷設しているメイン道路である国道54号に位置しています。



原爆ドーム 下流方向を望む



太田川流域図と見学場所

1945年8月6日午前8時15分、原爆ドームの南東上空約580mの地点で原子爆弾が炸裂しました。

1966年に、広島市は原爆ドームの永久保存を決定、広く募金を呼びかけ、これまで二度の保存工事が行われました。1996年12月「世界遺産条約」に基づきユネスコの世界遺産に登録されました。

今でも世界中から多くの観光客が訪れ原爆の悲惨さを痛感しています。



旧太田川（本川） 上流方向を望む

旧太田川は、太田川水系の分流で広島県広島市を流れる河川であり、広島デルタの6河川のうちの1つで中央部を流れています。通称は本川。元々太田川はこの川のことを指していましたが、太田川放水路ができてからは放水路が本流とされたため、この川を旧太田川と呼ぶこととなりました。



元安川沿いのオープンカフェ

国土交通省は、都心を流れる広島市の太田川と大阪市の道頓堀川の水辺で、カフェテラスや船上レストランなど占用施設の設置や経営への民間参入を許す方針を固めました。2004年3月23日付けで河川利用の特例措置に関する通達が出され、水辺における都市の楽しみ方の創出を目的として、社会実験「水辺のオープンカフェ」を実施しています。



元安川 上流方向を望む

元安川は、太田川水系の分流で、広島県広島市を流れ広島湾に注ぐ一級河川です。元安川では昭和20年8月6日に原爆が落とされた際、水を求めてこの川まで来て亡くなった人が多かったため、毎年8月6日には犠牲者を弔う灯籠流しがおこなわれています。川沿いにはベンチがあり、たくさんの人たちの憩いの場所となっていました。



川の遊覧船

原爆ドーム下流の元安橋東詰が発着地であり、広島への世界遺産航路もあります。

川と遊覧船が良い景観を形成しています。

出典：国土交通省河川局HP

中国地方整備局 太田川河川事務所HP

広島市HP

地図 マピオン

(記：JRRN事務局)

会議・イベント等 (2007年10月)

(JRRN 主催の会議・イベント)

川からの都市再生～台湾・高雄市の事例 愛河
日時：平成19年10月11日(木) 10:00 - 12:00
会場：財団法人リバーフロント整備センター
共催：日本大学理工学部・Japan River Restoration Network・財団法人リバーフロント整備センター
<http://www.a-rr.net/jp/info/letter/information/282.html>

皆様の参加を是非お待ちしております。

(その他の河川再生に関する主なイベント)

安全で安心な都市づくりと水辺の再生
日時：平成19年10月4日(木) 14:00～16:00
会場：新宿NSビル3階ホール
主催：東京都立中央図書館
<http://www.a-rr.net/jp/event/03/294.html>

大阪・水辺の都市サミット

日時：平成19年10月12日(金) 13:00～16:00
会場：京阪シティーモール8F 特設会場
主催：NPO法人 大阪水上安全協会 他
<http://www.a-rr.net/jp/event/03/289.html>

第113回河川文化を語る会「日本の川のけしき」
日時：平成19年10月22日(月)
会場：厚生会館(全国土木建築健保)
主催：(社)日本河川協会
<http://www.a-rr.net/jp/event/03/252.html>

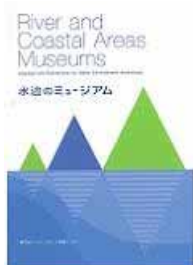
ミツカン水の文化交流フォーラム 2007「2107年の水文化」

日時：平成19年10月31日(水)
会場：東京ウィメンズプラザ
主催：ミツカン水の文化センター
<http://www.a-rr.net/jp/event/03/295.html>

冊子ビデオ等の紹介

水辺のミュージアム (2007.9)

- ・発行：(財)リバーフロント整備センター
- ・価格：無料



全国の「水辺」にかかわる資料館・博物館の中から、特色のあるものを紹介した冊子が発行されました。一見して捉えにくい水辺の魅力や展示方法をわかりやすく紹介していますので、川の本質を知る上で参考になります。

多自然型川づくりを越えて (2007.4)

- ・著者：妹尾優二、吉村伸一、吉川勝秀
- ・出版社：学芸出版社 (2007/04)
- ・価格：¥3,360 (税込)



多自然型工法誕生から15年を経て、生態系への理解や現場の技術者の育成など多くの課題が山積しているなかで、実践を踏まえた多自然型川づくりの基本をまとめ、さらに自然と共生し、都市・地域の軸となる「空間としての川づくり」を提案しています。

事務局からのお知らせ

JRRN が設立してまもなく 1 年を迎えます。現在の会員数は約 200 名です。JRRN として今後も様々な活動を展開していきますので、まだご加入でない方は、是非 JRRN にご加入下さい。会員資格は下記の通りです。

JRRN の登録資格

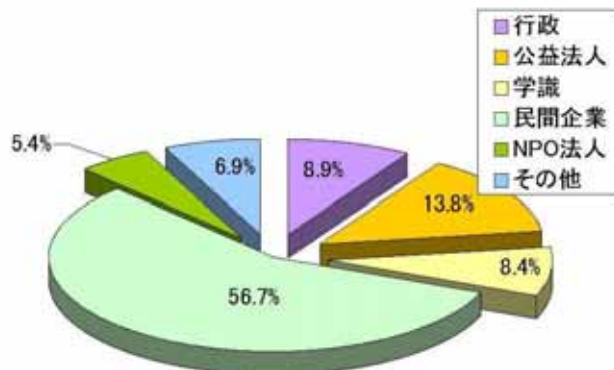
JRRN への登録は、個人、団体を問わず無料です。

行政、民間団体、NPO、研究者、個人等、所属団体や機関を問わず、積極的に河川環境の整備改善に携わるすべての方々のご参加を歓迎いたします。

会員の特典

会員登録をされた方々へ、様々な「会員の特典」をご用意しています。

- (1) ニュースレターによる国内外の河川再生情報が配信されます。
- (2) 国内外のセミナー、ワークショップ等の開催情報が入手できます。
- (3) 必要に応じた国内外の河川整備事例の情報収集の支援を受けられます。
- (4) JRRN を通じて、河川再生に関する技術情報やイベント開催案内等を国内外に発信可能となります。
- (5) 韓国、中国をはじめとする、ARRN 加盟国内の河川再生関連ネットワークと人的交流の橋渡しの支援を受けられます。



2007年9月末時点の会員構成

JRRN 事務局

(財)リバーフロント整備センター (RFC)

問い合わせ先

財団法人リバーフロント整備センター 技術普及部
東京都千代田区一番町 8 番地 一番町 FS ビル
技術普及部

Tel: 03-3265-7121 Fax: 03-3265-7456

E-mail: info@a-rr.net

URL: <http://www.a-rr.net/jp/>